

# つるおか 市議 会

平成25年

12月定例会号

●H26.2.1 発行

だより



## 雪の参道を歩いて登ろう

1月4日に午歳御縁年を記念して、冬の羽黒山を楽しんでもらうことを目的に月山ビジターセンター主催の「雪の参道を歩いて登ろう」が開催されました。

当日は市内外から35人の参加があり、山頂を目指して2,446段の石段を登りました。

Vol.36



# 議会の概要

51施設の指定管理者を可決  
補正予算、条例議案など  
85件を審議

## 市当局が議案を提案 4人が総括質問

開会初日は、市当局が予算議案4件、条例議案22件、事件議案53件の計79件の議案を提案し、各会派を代表して4人の議員が総括質問を行いました。(総括質問の内容は5～6頁)

上程された議案については、予算議案は予算特別委員会に、条例議案及び事件議案は、所管の常任委員会に付託されました。続いて、議会が議会第12号及び第13号の特別委員会の設置についての議案を提案し、全員賛成で可決されました。また、同委員会の委員について、議長の指名により選任しました。

## 12月定例会日程

- 3日 本会議(総括質問)  
予算特別委員会
- 5・6・9日 本会議(一般質問)
- 10～13日 常任委員会
- 19日 本会議  
予算特別委員会
- 20日 本会議(閉会)

12月定例会は、12月3日に開会し、市当局が79件、議会が6件の議案を提案しました。請願2件については、所管の常任委員会に付託されました。上程された議案・請願は、総括質問、委員会質疑などの後、議会提案の意見書を含め審議され、18日間の会期を経て12月20日に閉会しました。(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3～4頁)

## 予算特別委員会を開催 提案趣旨を説明

次に、議会第14号鶴岡市農業委員会委員の推薦についての議案を提案し、議長の指名により推薦しました。(特別委員会、人事案件の内容は4頁)

同日、本会議終了後に、予算特別委員会が開催されました。

## 一般質問に 26人の議員が登壇

12月5日、6日、9日の3日間、市当局に対して一般質問が行われ、26人の議員が市政全般について質問を行いました。(一般質問の内容は9～15頁)

## 各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

10日に総務、11日に市民文教、12日に厚生、13日に産業建設の



## 請願の審査報告

各常任委員会が開催されました。常任委員会では、付託された条例議案及び事件議案の審査が行われ、引き続き、予算特別委員会分科会として予算議案の審査が行われました。(委員会審査の内容は7頁)

また、総務及び産業建設常任委員会では、付託されていた請願の審査が行われました。

## 予算特別委員会では分科会報告

19日の本会議では、意見書提出を求める請願第8号及び第9号について、所管の常任委員長が審査の報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択となりました。

本会議終了後に開催された予算特別委員会では、各分科会委員長が予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で可決されました。

## 意見書提出議案を審査 委員長報告の後、表決

議会最終日の20日、議会第15号から第17号の意見書3件を議会が提案し、議会第15号及び第16号は、表決の結果、全員賛成で可決されました。また、議会第17号については、討論の後、

表決の結果、賛成多数で可決されました。

次に、各常任委員長が条例議案及び事件議案、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、議会第126号から第204号までの議案について討論の後、表決の結果、賛成多数で可決されました。

最後に、選第4号及び第5号の鶴岡市選挙管理委員会選挙管理委員及び選挙管理委員の補充員の選挙が行われ、議長が指名推薦し、当選人が決定され、閉会となりました。(選挙結果は4頁)

平成25年度  
都道府県議会議員及び市町村  
議会議員総務大臣感謝状

地方議会議員として35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったとして、総務大臣より感謝状を受けられましたので議場において伝達を行いました。

中 沢 洋 氏

## ▼市当局から提案された議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第126号	平成25年度鶴岡市一般会計補正予算（第3号）	予算特別	可決
議第127号	平成25年度鶴岡市介護保険特別会計補正予算（第2号）	予算特別	可決
議第128号	平成25年度鶴岡市集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	予算特別	可決
議第129号	平成25年度鶴岡市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	予算特別	可決
議第130号	鶴岡市ケーブルテレビジョン設置及び管理条例の一部改正について 加入金及び利用料を改定するもの	総務	可決
議第131号	鶴岡市加入者系光ファイバ網使用料及び手数料条例の一部改正について 使用料及び手数料を改定するもの	総務	可決
議第132号	損害賠償の額の決定について 平成25年6月15日、市所有の建物の底下端の一部が剥離し、車両に落下して発生した車両損壊事故の損害賠償を行うもの	総務	可決
議第133号	指定管理者の指定について（出羽庄内国際村）	総務	可決
議第134号	指定管理者の指定について（黒川能の里王祇会館）	総務	可決
議第135号	鶴岡市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部改正について 設置目的を改正し、藤島地域の地区地域活動センターを鶴岡市コミュニティセンターに加え、開館時間、休館日、使用料を定めるもの	市民文教	可決
議第136号	鶴岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について 一般廃棄物の処理手数料を改定するもの	市民文教	可決
議第137号	鶴岡市火災予防条例の一部改正について 消防法施行令の改正に伴い、字句整理を行うもの	市民文教	可決
議第138号	鶴岡市公民館設置及び管理条例の一部改正について 藤島、東栄、八栄島、長沼、渡前、朝日熊出公民館を廃止するもの	市民文教	可決
議第139号	鶴岡市文化会館設置及び管理条例の廃止について 現文化会館を廃止するもの	市民文教	可決
議第140号～議第164号	指定管理者の指定について （鶴岡市第一学区コミュニティ防災センター ほか24件）	市民文教	可決
議第165号	鶴岡市病院事業使用料及び手数料条例の一部改正について 荘内病院及び湯田川温泉リハビリテーション病院の使用料及び手数料の一部を改定するもの	厚生	可決
議第166号～議第177号	指定管理者の指定について （鶴岡市湯野浜上区公衆浴場・鶴岡市湯野浜下区公衆浴場 ほか11件）	厚生	可決
議第178号	鶴岡市県営土地改良事業分担金徴収条例の一部改正について 本市が県に代わり事業の受益者から分担金の徴収を行うこととする事業に県営庄内砂丘地区農村地域防災減災事業を加えるもの	産業建設	可決
議第179号	鶴岡市部分林設置条例の一部改正について 設定契約をした年度から60年間となっている部分林の存続期間について、20年を超えない範囲で延長することができることとするもの	産業建設	可決
議第180号	鶴岡市市営住宅設置及び管理条例の一部改正について 市営住宅のうち青柳住宅及び黒瀬住宅を廃止し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の改正を受け改正するもの	産業建設	可決
議第181号	鶴岡市給水条例の一部改正について 加入金及び水道料金を改定するもの	産業建設	可決
議第182号	鶴岡市下水道条例の一部改正について 下水道使用料を改定するもの	産業建設	可決
議第183号	鶴岡市集落排水処理施設設置及び管理条例の一部改正について 集落排水処理施設使用料について、下水道使用料の改定に準じ改めるもの	産業建設	可決
議第184号	鶴岡市浄化槽設置及び管理条例の一部改正について 浄化槽の使用料について、下水道使用料の改定に準じ改めるもの	産業建設	可決
議第185号	鶴岡市藤島総合交流促進施設設置及び管理条例の一部改正について 温泉交流施設の入浴及び休憩利用に係る利用料金基準額を改定するもの	産業建設	可決
議第186号	鶴岡市月山高原活性化センター設置及び管理条例の廃止について 月山高原活性化センターを廃止するもの	産業建設	可決
議第187号	鶴岡市やまぶし温泉ゆばか設置及び管理条例の一部改正について 温泉施設の入浴利用に係る利用料金基準額を改定し、2時間を超えての個室利用及び1時間を超えての多目的ルーム利用の場合、加算額を30分単位で算定するもの	産業建設	可決
議第188号	鶴岡市櫛引温泉入浴施設設置及び管理条例の一部改正について 入浴施設の入浴・休憩利用に係る利用料金基準額を改定し、4時間を超えての個室利用の場合、1時間単位で加算額を加算した上で基準額を改定するもの	産業建設	可決

### ▼市当局から提案された議案と審議結果

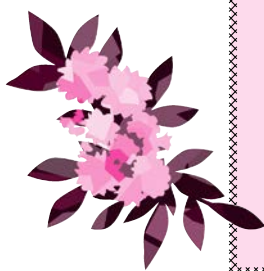
議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第189号	鶴岡市かたくり温泉入浴施設設置及び管理条例の一部改正について 入浴施設の入浴に係る使用料を改定するもの	産業建設	可決
議第190号	鶴岡市月山あさひ博物村設置及び管理条例の一部改正について アマゾン自然館及び伝統的家屋活性交流施設大梵字を廃止するもの	産業建設	可決
議第191号	鶴岡市早田緑地等利用施設設置及び管理条例の廃止について あつみしゃりんを廃止するもの	産業建設	可決
議第192号～議第194号 議第196号～議第204号	指定管理者の指定について（大淀川交流センター ほか11件）	産業建設	可決
議第195号	土地の取得について 鶴岡市藤島字山ノ前29番地1ほか7筆の土地12,574.67㎡を一般財団法人鶴岡市開発公社から9,696万161円で取得するもの	産業建設	可決

### ▼議会が提案した議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第12号	高速交通等対策特別委員会の設置について	省 略	可決
議会第13号	議会改革特別委員会の設置について	省 略	可決
議会第14号	鶴岡市農業委員会委員の推薦について	省 略	推薦
議会第15号	過疎対策の積極的推進を求める意見書の提出について	省 略	可決
議会第16号	「総合的な水田農業政策の確立」に関する意見書の提出について	省 略	可決
議会第17号	消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書の提出について	省 略	可決
選 第4号	鶴岡市選挙管理委員会選挙管理委員の選挙		下段掲載
選 第5号	鶴岡市選挙管理委員会選挙管理委員の補充員の選挙		下段掲載

### ▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第8号	消費税増税中止を求める意見書提出に関する請願	総 務	不採択
請願第9号	T P P（環太平洋連携協定）交渉からの撤退を求める意見書提出を求める請願	産業建設	不採択



**人事案件の結果**  
 農業委員会委員の推薦  
 齋藤 久氏（議会議員）  
 鶴岡市選挙管理委員会  
 選挙管理委員  
 菅野 邦子氏（稲生一丁目）  
 丸山 聡氏（渡前）  
 菅原 忠氏（大針）  
 青木 博氏（東原町）  
 選挙管理委員の補充員  
 本間 元幸氏（小岩川）  
 渡部 賢一氏（西片屋）  
 庄司 晴一氏（羽黒町押口）  
 渡部 君子氏（斎藤川原）

	議会改革特別委員会	高速交通等対策特別委員会
委員長	今野 良和	本間新兵衛
副委員長	小野 由夫	加藤 鑛一
委員	渡辺 洋井 関 徹 加藤 鑛一 富樫 正毅 岡村 正博 佐藤 文一 小野寺佳克 佐藤 聡	今野美奈子 佐藤 峯男 菅井 巖 中沢 洋 尾形 昌彦 菅原 一浩 野村 廣登 五十嵐庄一
設置目的	議会機能の充実・強化及び議会運営の活性化に向けて調査検討する。	東北横断自動車道酒田線・日本海沿岸東北自動車道の建設促進、庄内空港の運航拡充及び施設整備促進、羽越本線の複線化・高速化について調査研究する。

特別委員会を設置しました



# 総括質問

市長の提案に対して  
会派を代表して質問します

(執筆は質問をした議員本人です。)

## 新政 クラブ



議員 一員  
佐藤 文 藤

### 今後のまちづくりはどのようにする

議員 榎本市政二期目のまちづくりを伺う。

市長 東北一広い面積、多様な自然、奥深い歴史・文化、すばらしい農林水産業、高度な研究教育機関など、極めて恵まれた地域資源を有している。これらを高度に活用し、市民の皆様とともに地域を挙げた総合的なまちづくりとして取り組むことが、困難な課題を乗り越えていく成長戦略になるのではないかと思ひ、鶴岡ルネサンス宣言がある。今後も最重要課題として、政策の中核に据えていく。

### 歴史的風致維持向上計画の意義は

議員 計画が国の認定を受けたが、狙いや意義、概要は。

市長 本市の歴史的建造物や伝統行事、風情、情緒、たまたまいを醸し出している良好な環境、いわゆる歴史的風致を維持、向上すること、まちや暮らしの環境とその魅力を守り高め、後世に継承し、本市固有の歴史と文化を生かしたまちづくりを計画的に推進していくものである。鶴岡公園周辺に継

承されている藩校致道館の教学精神、旧庄内藩酒井家と荘内大祭などの五つの歴史的風致、また、古くより信仰の山として栄えた出羽三山に継承されている出羽三山とその祭礼、門前町、手向地区と出羽三山参り、そして、明治期に庄内藩士により開墾された松ヶ岡開墾場と地縁団体の活動の八つを歴史的風致として位置づけている。



荘内大祭

## 市民 クラブ



議員 一員  
小野 由 夫

### 市長の政策大綱は

議員 今後4年間、市長が特に重点項目に掲げる重要政策について伺う。

市長 一つは少子・高齢化に伴う人口減少対策。二つ目は地域経済雇用対策。三つ目は安全・安心を守るための災害対策である。こうした課題を克服していくため、施策体系の再構築や総合計画の基本計画の見直しを行うこととしており、その中で鶴岡ルネサンス宣言を今後の本市の成長戦略として政策の中核に据えながら検討を進めているところである。

### 農業を守る政策は

議員 農業の経営基盤を強くする施策、国土の環境を守り山間地農業を守る施策を伺う。

市長 本市においては、水田農業の振興策として、安全・安心、良食味米の生産の推進、低コスト複合生産による経営の安定化、需要を意識した米づくりの推進を三つの柱としている。また、中山間地域の振興策として地域資源を有効活用した生産振興と小ロットの農産物の加工、販売の拡大の促進、認定農業者等の担い手の育成確保と集落営農の促進、有害鳥獣の被害防止策を三つの柱とし、特に集落営農の組織化を重点的に推進することにしている。さらに、食の宝庫を標榜する本市において、6次産業の取り組み段階に応じたさまざまな支援策及び推進を図ってい

く。

## 日本共産党 鶴岡市議団



議員 一員  
加藤 鑛

### 増税分を公共料金に課すのか

議員 消費税は、所得の低い世帯ほど負担割合が高くなる逆進性を特徴とし、経済的困窮者に重い負担を課す。増税分を公共料金に課す影響は大きいがどうか。

市長 受益者負担の原則に基づき、経費の増高に見合う適正な料金を負担いただく対応が適当と考える。

### 米の需給に国の責任求めよ

議員 政府の米生産調整見直しに対し、米の需給と生産の安定に国の責任を求めるべきだが。

市長 食料自給率の向上と食料の安定供給を図るため、国の責任ある関与は必要と考えている。

### 特養待機者対策を問え

議員 介護保険第6期計画では、増加する特養待機者対策と保険料の設定はどうなのか。

市長 施設整備は在宅待機者で重度の要介護4、5の方の人数を勘案し、保険料に与える影響を考慮し進める。保険料は引き続き低所得者に配慮した設定に努めたい。

## 公民館のセンター化

議員 公民館のコミュニティセンター化は、施設の非教育機関化と民営化による行政責任の後退という問題があるがどうか。

市長 地域活動センターにおける社会教育と生涯学習の推進を図っていく。職員の専門性の向上を図り、社会教育が後退しないよう努めていく。



## 新たなごみ焼却施設どうなる

議員 ごみ焼却施設は老朽化が進んでいる。環境に優しい対策を講じつつ、早急に結論を出すべきだ。市長 ごみの減量化と資源化の推



進に力を入れていくとともに、再生エネルギーの利用を拡大するためのエネルギー回収による発電等を考慮した新たな廃棄物処理施設の整備を検討している。本年は、ごみ焼却施設整備基本構想を策定しており、その後、生活環境影響調査、廃棄物処理施設として熱回収施設整備基本計画等を進める。整備費も多額となることから、合併特例債を利用できる期間内の完成を視野に検討を進めている。

## 地域力向上へ

議員 人口減少、高齢化が進み、地域活動がままならない状況がある。自治会、町内会の地域組織の整理、強化が図られるべきだが。

市長 単位自治組織の半数余りが50世帯以下の小規模な組織が占めており、自治活動の維持について懸念される。小さな自治組織が統合により規模を拡大したケースでは、活動の維持活性化に効果があると認識しているが、自治組織は任意の組織であり、統合には多くの課題があると考えている。なお地域課題が増加傾向にある中、担い手不足により課題解決への取り組みが難しくなっている状況にもあることから、統合等を希望される自治組織については、適宜適切に支援を講じていきたい。

## 議会の開催状況 (平成25年中)

平成25年中は、4回の定例会(3月・6月・9月・12月)と、臨時会(11月)が開催されました。その概要は次のとおりです。

### 議会の開催状況 (単位: 回・日)

招集回数		会期日数		本会議日数	
定例会	臨時会	定例会	臨時会	定例会	臨時会
4	1	82	2	24	2

議会運営委員会 委員会 12回・協議会 4回

議員全員協議会 4回

### 提出議案の状況 (単位: 件)

市長提出						議員提出					請願		
予算	決算	条例等	事件	人事	計	条例	決議	意見書	その他	計	受理	継続	計
36	3	70	86	9	204	2	1	11	3	17	9	1	10

### 審査の状況 (単位: 件)

市長提出						議員提出				請願				
可決	同意	承認	認定	可決 及び 認定	否決	可決	否決	推薦	採択	不採択	みなし 採択	継続 審査	審議 未了	取り 下げ
188	9	4	2	1	0	15	1	1	2	5	1	1	0	1

### 常任委員会の開催状況 (単位: 日)

	総務	市民生活	市民文教	厚生文教	厚生	産業建設
委員会	5	1	4	1	4	5
分科会	4	1	3	1	3	4
協議会	2	0	1	0	2	2

平成25年4月より常任委員会について  
市民生活 市民文教、厚生文教 厚生となりました。

# 委員会審査

提案された議案を  
それぞれ所管の委員会に  
付託して審査します

(審査の主なものを掲載します。)

## 総務 常任委員会

### 予算特別委員会総務分科会

#### 補助金申請書類の確認は

委員 補助金申請に関わる事務処理ミスにより、庄内交通株式会社  
が3億円近くの補助金を返還する  
ことになったが、市が事前に書類  
の確認をして指導すべきでなかっ  
たか。

地域振興課長 市町村をまたぐ路  
線バスについては、市を經由して  
の補助金申請書類の提出はなく、  
直接国に申請書類が提出されるも  
ので、国で交付額決定をし、その  
同額を県で補助する仕組みとなっ  
ている。こうしたことから、今回  
の事例は市で補助金申請書類を確  
認することができない中で発生し  
たものである。

## 市民文教 常任委員会

#### 文化会館解体後の対応は

委員 長年親しまれてきた文化会  
館が改築のためなくなってしまう  
が、この間の文化活動に使用する  
中央公民館は控室が1室しかなく  
狭いが、増設等の検討は。

中央公民館長 これまでの中央公

民館ホールの使い方では現状の控  
室で足りていると認識している。

ただし、使用団体数が増え、不足  
があれば大視聴覚室等ほかの部屋  
を使っていたらどうかで対応して  
いきたいと考えている。

#### 指定管理者の管理状況は

委員 鶴岡市体育協会がNPO認  
証取得をして、今年の4月から19  
施設を管理運営しているが、課題  
等のようなものがあつたか。

スポーツ課長 多数の修繕予定箇  
所を計画的に予算の範囲内で行う  
点で苦労している。指定管理者の  
メリットとしては、柔軟な職員配  
置により小真木原総合体育館トレ  
ーニングルームを昼休みも開館す  
る等により市民に喜ばれている。

## 厚生 常任委員会

#### 入院時の個室加算は

委員 個室加算について、希望し  
ない形で個室に入る場合の加算は  
どのようになっているか。

荘内病院医事課長 通常の入院で  
は入院前に説明して希望を確認し、  
承諾が得られた場合のみ加算して  
いる。また、緊急入院等で説明が  
事後となった場合においても、承

諾を得られない場合は加算してい  
ない。

### 予算特別委員会厚生分科会

#### 日常生活圏域ニーズ調査予定は

委員 日常生活圏域ニーズ調査は、  
国の調査票に基づき行われるのか。  
また、圏域の設定や事業スケジュ  
ールはどのようになるのか。

長寿介護課長 国では調査項目を  
96としているが、これをベースに  
市独自の項目を追加するかを検討  
している。圏域は介護保険事業計  
画で設定した13圏域と同じとし、  
約6千件の調査を行う。スケジュ  
ールについては、来年1月に入札  
2月に配布、年度内に回収、単純  
集計し、7月までにクロス集計と  
分析を終え、介護事業計画に反映  
させていきたい。

## 産業建設 常任委員会

#### 広域水道事業の料金引き下げは

委員 県の広域水道事業の受水費  
が高いと思うが、県に対する引き  
下げの働きかけの考えはあるか。  
また、他市と比べた本市の上下水  
道の料金水準はどのようになっ  
ているか。

上下水道部総務課長 広域水道の  
受水費が経費の41割を占めており、  
庄内一体となって引き下げの要望  
活動をしているが、来年度以降も  
この活動を続けていきたい。水道  
料金は一般的な家庭が利用する口  
径と使用量で県内では低い方であ  
り、従量が多くなるほど料金を加  
算する料金設定となっている。

下水道課長 下水道料金はそれぞ  
れの市町村で整備状況が違い一概  
には言えないが、県内的には高い  
レベルにあると認識している。合  
併により施設数が増えており、応  
分負担をいただくことは必要と考  
えている。

### 予算特別委員会産業建設分科会

#### 電気自動車用充電設備の整備は

委員 「道の駅」あつみに電気自  
動車の充電設備を整備するのは、  
充電設備に対する市の方針があつ  
て今回設置するのか。

温海庁舎産業課長 今回に限って  
言えば、9月に県が「道の駅」に  
対する設置補助制度を拡充したの  
が発端で、DC開催に併せて電気  
自動車の観光利用を促すものであ  
る。本市の「道の駅」2箇所のう  
ち、県境の温海地域を優先して設  
置することになった。



# 討 論

表決の前に、提案された  
議案に対して、賛成か  
反対かの意見を表明します

## 反対

消費税引き上げに伴う改定と  
公民館コミセン化には反対

日本共産党鶴岡市議団を代表し、本議会に上程されている議案のうち、消費税率引き上げに伴う使用料・手数料の改定議案12本について及び藤島地域の地区公民館を廃止し、コミュニティセンター化する  
ことについて同意できないので反対の討論を行う。

消費税は低所得者に重い負担を課すものであり、行政サービスの受益者に一律に増税分を使用料・手数料に上乗せすれば、低所得者は行政サービスから排除されるおそれがある。

ケーブルテレビ等情報の条件不利地域の整備は、本来受益者負担をできるだけ低く抑え、市全体でみていく必要があるものである。一般廃棄物処理手数料に消費税増税分の加算は、長引く不況のもとで業者や市民の負担増となる問題である。病院事業使用料・手数料等については、本来医療は、お金の  
あるなしに左右されるのでなく、いつでもどこでも適切に受ける権利が誰にも平等になければならず、引き上げには反対である。全国的にも高い水準による水道料金は企業局にも受水費の引き下げを一層強く求める等、市民の負担軽減へ

の努力がさらに必要である。下水道使用料はすでに管理費100割、資本費43・2割が算入されており、受益者負担が強化されている。家族が多ければ負担が重くなり、低所得者を苦しめる。旧町村の入浴施設を活用した地域づくり活性化は人口減少対策にとっても非常に重要であり、消費税増税分や経費増分を上乗せせず、市全体でみていくことが合併のメリットになるのではないか。

藤島地域の5つの地区公民館については、社会教育法に基づく教育施設から、市長部局の施設になる提案であるが、コミュニティセンター化で住民の活動の拠点施設へと変わり、行政責任は環境整備が中心となり、学習教育事業の責任があいまいとなる。旧町村から公民館を失うとき、国民の学習教育の権利を保障する社会教育とは何か、市の社会教育の再定位はいかにあるべきかが問われる。指定管理の導入で行政と住民の協働をうたっているが、将来は鶴岡地域のコミュニティセンターのように職員を充実させようとするれば、住民負担が増大するのではないかと危惧される。旧町村の行政的自治が一層縮小することになるのは確実で、公民館のコミュニティセンター化には賛成することはできない。

## 賛成

社会保障財源確保及び  
社会教育との融合を図るもの

新政クラブを代表し、賛成の討論を行う。

利用料・使用料及び手数料関連の条例の一部改正について、反対討論者は消費税引き上げそのものに反対の主張であり、消費税増税を前提とした利用料、使用料、手数料などの引き上げについては同意できないということで反対している。消費税率の引き上げについては、これからの日本社会を俯瞰し、社会保障と税の一体改革の環境で行われてきたものである。年金医療介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費にあてるものとする旨の消費税法の改正を行ったものであり、その方向性は正しいものと認識している。昨年8月に消費税法改正法が成立し、その後有識者や各界の専門家から意見を聞く集中点検会合を開催し、熟慮の結果、来年の4月から消費税3割引き上げを決定した。また、憲法に示されている租税法主義に基づく税制改正を遵守することは国民に課せられた義務であり、今般の本市条例改正はそれに基づき行うことは言うまでもない。

コミュニティセンター設置及び

管理条例の一部改正と公民館設置及び管理条例の一部改正は、少子高齢化の進展により、縮小傾向が見込まれる単位自治組織の機能を補うとともに、地域づくりや地域課題解決等を担う地域自治の要として、小学校区や地区公民館等の区域を単位とする広域的なコミュニティ組織づくりを推進するという本市のコミュニティ施策方針に基づき、総合的地域活動の拠点施設・地域活動センターとして位置付け、財政的措置も配慮しながら発展的に再編するものであると認識している。当該地域においては、すでに地域住民の皆さんが新たな体制づくりに向け鋭意検討努力していると聞いている。地域住民のための地域活動センターとして機能するよう、今後も行政の側面からの指導支援を願うものである。施設の所管が教育委員会から市長部局に移るが、関係課が一層連携して取り組んでいくということであり、綿密な連携の下、その機能を十分に発揮できるものと期待している。社会が変化し、価値観やニーズが多様化している中においては、生涯学習は学校教育、福祉や防災、環境保護など幅広い施策の中で行われる学習機会としてとらえ、社会教育との融合という新たな方向性が求められている。



# 一般質問

市政全般について  
市当局に考え方や  
方針などを質問します

(総括質問を行った議員を除く23人の質問を掲載します。執筆は質問をした議員本人です。)



## 特養不足の実態調査は

議員 特別養護老人ホーム入所待機者が1,306人、6年間で1.7倍に急増している。入



特別養護老人ホーム おおやま

所を待っている内に亡くなってしまいう方もあり、「医療処置を要する」ために入所できない方が約2割いるという調査もある。整備数の引き上げが必要だが入所待ちの方の実態について調査することが必要ではないか。健康福祉部長 最も重要な要素である家庭環境や家庭の介護力はなかなか把握できていない。市には調査権限がないので、協力という形で実態を市に報告してもらおうよう、施設などにお願いでいきたい。整備は第5期計画の推移を見て次期に検討したい。

## 木質バイオマス発電、熱利用は

議員 発電事業で木材を燃料として売り、間伐を進めることが期待されている。しかし、膨大な木材を使用する割に、発電のみでは利用効率20%程度と非効率であり、熱利用を同時に行うことを検討すべきでは。農林水産部長 ご指摘のとおり、木質バイオマスは熱利用と併用することが最善とされている。熱利用の計画は現在はないが、熱交換による冷房利用など様々な視点から、活用方法について近隣の事業所や農業者など関係者と一緒に検討していきたい。



## 農家と消費者の交流事業支援を

議員 農業団体が行う、消費者との交流事業では、多くの公共施設を利用している。その支援が必要だと考えるがどうか。消費者交流は、市が推進する環境保全型農業の発展事例として検証する必要があるのでは。農林水産部長 消費者交流については、基本的にその団体の責任の範囲で行うべきと考え、公



農業団体の消費者交流事業

共施設利用については、条例に沿って利用料金をいただいているので理解を願う。首都圏等での鶴岡産農産物の販売活動を行う場合の経費の一部は、市としての支援も考えられる。消費者交流の効果検証は、生産者の主体性に任せるもので、行政が検証する立場にはないと考える。

## 医療費の中学卒業まで無料化を

議員 市長は9月議会で「小・中学生への外来医療費の無料化の拡大については、来年度に向けた最優先課題」と答弁している。来年度から県内トップレベルの中学3年までの無料化の実施に予算の確保を求め。健康福祉部長 県内の状況を踏まえれば、中学3年までの拡大を当面の目標と捉えている。来年度で一気の実現できるかは、財政見通しを基に、県からの補助金などの動向を見据えながら決定していく。不要不急な受診が増えないように啓発に努める。



## 大震災避難者支援の強化を

議員 子どもの成長や、高齢者世帯の雪などに配慮した住居の住み替えを進めるべきでは。本

市への定住希望者への住宅取得や家賃補助、就業支援の強化を特に子どもを抱える世帯の保育料、学校教育費、医療費の支援強化をすべきではないか。健康福祉部長 住居の相談は県の支援室に直接結び付けており、住み替えは県が国に対応を要望している。就労支援は相談があれば事業所等への協力依頼も含め検討したい。

## 学校図書職員の見直し改善を

議員 学校図書館職員は、職務上、専門性と経験・熟練が求められるっており、期限付きの「雇い止め」の対象とするべきではないと考えるが。給食・図書パート職員は、業務のため図書館業務の時間が1時間半程度しか取れていないと聞くが、図書業務確保のために改善すべきでは。教育部長 学校図書職員は全て市の臨時職員であり、法令の主旨に基づき期限をつけているが、専門性と実務経験を有する職として通常の臨時職員とは区別して再度の任用を行っている。給食図書業務職員はほぼ半分の時間を図書業務に当てており、業務ができない場合は先生や児童が貸し出しを行っている。



今野美奈子  
議員

### 精神障がいの方と家族の生活は

議員 精神障がいの方たちの生活環境整備の具体的施策と共生型グループホーム施設整備は、健康福祉部長 相談支援体制の強化、精神障がいについての研修、啓発事業を展開し、正しい理解が得られるよう普及啓発に努めたい。入所施設については課題とさせていただく。

### 発達障がいの児童生徒の早期受診は

議員 初診を受診することができようになるまでの待ち期間が半年以上である。荘内病院にも専門の医師を。

健康福祉部長 早期に適切な発達支援をするにあたり、喫緊の課題である。県立こころの医療センターが平成26年度末に開院予定である。気軽に行き来しやすい地域に開かれた病院づくりをコンセプトとしている。専門医の確保については県に要望していく。

### 松ヶ岡お茶畑の6次産業化に向けた支援策は

議員 歴史ある松ヶ岡のお茶作りへの行政の支援策は何か。農林水産部長 園芸作物試験圃設置事業や先導的農業組織等育成事業を活用していただきたい。松ヶ岡の方々の思いを大切に、その意向をふまえながら支援策を講じていきたい。



石井 清則  
議員

### 農地、耕作時まで復旧へ

議員 豪雨被害による農地・農業用施設等の復旧が進んでいないところもある。復旧が春になるとの声も聞かれるが対応は。

農林水産部長 早期発注などにより、年度内に完成したい。ただ、過去には豪雪などにより繰越となった事例もあり、不測の事態が発生した場合は、所定の手続きのもと、耕作時に支障が出ないよう早期復旧に努めたい。

### DCは3つの柱で誘客へ

議員 来年本番を迎えるDCに向け、市の観光の柱が必要と考えるが、市の考えは。

商工観光部長 庄内観光戦略に基づき食・体験・巡礼・絶景・美人のテーマも考慮しつつ、市

のまちづくりの柱でもある食文化、午歳御縁年を迎える羽黒山をはじめとする出羽三山、来年6月にリニューアルオープンする加茂水族館を3つの柱として掲げ、誘客活動を展開する。議員 柱の一つに食文化とあるが、具体的な取り組みは。企画部長 るるぶ鶴岡版の製作に取り組み、市の文化性と併せ食を紹介する形にしたい。発行は来年の春を予定している。また、「鶴岡ふうど駅スポ」や「鶴岡のれん」といったイベントをDC期間中に開催し、観光誘客と食文化都市の盛り上げに結びつけるようにしたい。



渡辺 洋井  
議員

### 遺伝子組み換え作物栽培規制のある食文化創造都市の実現を

議員 食文化と遺伝子組み換え作物は相容れない。ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を機に旧藤島町で活用している条例を全市的なものにしては。

農林水産部長 16年から国の法体系で厳しい規制が行われており、条例の全市適用は考えていないが、環境保全型農業にはオ

ール鶴岡で取り組んでいく。

### 鶴岡第三中学校改築の見通しは

議員 耐震性などに不備が指摘され、全面改築予定の鶴岡第三中学校の計画の進捗状況は。

教育部長 現敷地内に校舎、武道館併設の体育館、グラウンドの改築予定である。28年度以降早期に事業を開始、32年度までに終了させたい。建築計画基本構想は学校、生徒や保護者、地域の要望を伺いながら策定する。



鶴岡第三中学校

### 人工合成クモの糸を造るスパイバー社等へ周到な安全管理を

議員 遺伝子工学には安全性確立が必要不可欠。遺伝子組み換え微生物の大量培養で糸を造る企業とは安全協定の締結等を行

い市民の安全を守るべきである。企画部長 企業側の法令遵守を担保するため、近く環境保全に関する覚書（必要な立ち入り審査等を盛り込む）を締結し、引き続き万全を期して対応する。



加賀山 茂  
議員

### 除雪対策と道路整備は

議員 平野部で発生する猛吹雪への対応と対策に問題はないか。栄地区では吹雪で孤立した集落があり、住民が帰宅できない事例があった。幸いな事に緊急を要する事柄がなく安堵したが、緊急時対応はしっかりと備え、孤立を防ぐため防雪柵の設置を急ぐべきでは。また、全市域には歩道もなく狭隘な道路が多い幅員が4.5mにも満たない箇所がある文下荒井京田間は吹雪になれば通れない道路である。安全で利便性に富み、完備された道路整備を積極的に進める考えは。建設部長 24時間体制の除雪作業は困難であり、日付が変わる頃から出勤するなどの対応を行っている。緊急時は消防本部や警察署との連絡、協力体制を図り、緊急自動車通行への対応を

DC...山形形ステーションキャンペーンの略。山形県と地域の観光事業者がJRグループと連携し、全国からの誘客を目指す国内最大規模の観光キャンペーン。



している。吹きだまりや視程障害対策は、防雪柵の設置が最も効果的であり、緊急度を勘案して計画的に設置していきたい。市道文下馬場添荒井京田線の狭い800m区間は通学路となっており、道路拡幅や防雪柵の設置も視野に入れ、安全対策を計画的に行う路線と認識している。文下地内旧国道7号との交差点は、従来から交通事故の危険性があるとして改良要望があり、対策について検討を深め、住民の皆様と十分な協議をしたい。



防雪柵



中沢 洋  
議員

高齢者単身世帯への対応策は

議員 長寿化により、要介護・貧困・社会的孤立や不安等が増加している高齢者単身世帯への対応策は。

健康福祉部長 本市65歳以上の単身世帯割合は9割となっており。ひとり暮らし高齢者の不安の解消に向け、支援総合機関として地域包括支援センターを設置し、相談内容に応じ対応している。在宅生活支援家事援助サービスマ、安心見守りコールサービス、成年後見制度利用支援、民生委員による訪問等の支援を有効に活用いただき、安心安全な生活をお過ごしいただきたい。

ひとり親家庭の控除は

議員 ひとり親家庭には所得税の控除制度があるが、未婚の場合は適用されず、保育料は税金と合わせて負担となる。区別せず支えていくという考え方は健康福祉部長 全国的には都市部の一部自治体で未婚のひとり親家庭に対する寡婦控除を保育料算定にみなし適用している事例があり、今年の9月に最高裁で摘出子と婚外子の相続分の差別について違憲判決が出て以降、寡婦控除のみを適用を検討する自治体が増えている。県内での事例はないが、他市の状況を

見ながら、厚生労働省への要望も含め十分に検討していきたい。



秋葉 雄  
議員

出産・子育て環境を整備せよ

議員 人口減少社会からいち早く脱却し、人口が安定的に推移する社会となるために、妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援が重要である。地域や社会全体で出産・子育てを応援する体制をいち早く整備すべきではないか。

健康福祉部長 医療機関と連携を密にして、相談支援事業を強



子育て支援事業 あそびの広場の様子

化し、また、民間の力もお借りしながら、妊娠・出産を包括的に支援する体制をより充実させていきたい。

導入される  
人事評価制度を成功へ

議員 国家公務員は人事評価制度が本格的に導入された。本市でも今年度から試行的に導入されているが、その基本原則と公平性、透明性を確保する施策、活用方法について何う。

総務部長 仕事をどの程度計画的に遂行し、成果を上げたかという業績評価と、必要な能力をどの程度発揮したかという能力評価を絶対評価を基本に実施する。評価に当たっては、職員の自己評価を主としながら、所属長との面談による確認を行い、その結果をフィードバックすることにより、職員本人と評価者たる所属長との評価誤差をなくし、人材育成につながる公正で客観的な評価を目指したい。



岡村 正博  
議員

湯殿山観光開発公社の解散に至った経緯は

議員 当該法人の解散を前提に、その資産、負債等の整理について、鶴岡市及び金融機関を相手方として、裁判所に対し調停を申し立てた経緯について何う。

朝日庁舎支所長 株式会社湯殿山観光開発公社の経営状況は、スキー人口の減少やリフト施設増設などの投資に伴う負債等に起因し、経営状況が極めて困難な状況にある。これまで、本市からは緊急雇用創出事業の委託や各種振興補助金等の支援を受け、経営の好転を目指してきたが、借入金の返済等が大きな負担となり、恒常的な資金不足を解消し、財務状況の改善は難し



湯殿山スキー場

く、同様の施策を進めることは、将来的に負債の増加を伴うことになる。そこで、今般、裁判所に対し調停を申し立て、公正で迅速な清算を期す措置を講ずるに至った。

### 湯殿山スキー場の今後は

議員 今後の施設運営と収支計画の見通しについて伺う。

朝日庁舎支所長 当該スキー場は、市の公の施設となった場合、指定管理者による管理運営になると思われる。収支見通しは借入金返済、租税公課や減価償却費等、固定費の計上が必要となるため、安定した黒字営業が見込まれると予測している。



菅原 一浩  
議員

### 中心市街地の一方通行解除は

議員 一方通行に関しては再考すべき時期である。全ての箇所的一方通行解除が理想的と考えるが、市街地全体の交通網再編も含め当局の考えを伺う。

建設部長 庁内に検討委員会を設け、中心市街地内の交通網について、中心商店街の一方通行解除も含め調査研究中である。



南銀座通り

南銀座、神楽橋十三軒町線、一日市通りは、交通量の大変多い市内の幹線道路であり、解除については、当面優先すべきものと考え、交差点改良や市道拡幅も必要となることから、手順や整備内容を検討し計画的な取り組みを進める。

### JR羽前水沢駅貨物専用線廃止に伴う周辺への影響と対策は

議員 廃止に伴う代替手段として大型車による陸上輸送が増大するが、周辺道路拡幅等の対策について当局の考えを伺う。

建設部長 廃止の場合、往復30台以上の大型車が朝夕に集中す

る見込みであり対策を講じる必要があると考える。本市としては、周辺生活道路への大型車進入を回避する手だてとしては市道水沢二号線の拡幅改良は有効な方策であると認識している。今後、地盤の状況や拡幅に当たつての土地利用の状況等について詳しく調査を行いながら対応について具体的に検討していく。



今野 良和  
議員

### マリカ東館の現状と

課題認識、解決策は

議員 2年前に同様の質問をしているが、その後の進捗状況、また、改善に向けた今後の取り組みについて伺う。

建設部長 マリカ東館1階については、市民、観光客、ビジネス客を対象にしたにぎわいを創出できる集客力のある企業立地が望ましい。そのために新たな取り組みとして、地元の金融機関、不動産、フランチャイズを手がける企業など、民間事業者と市の若手職員で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、様々なネットワークを活用し、具体的な検討を進めていく。



マリカ東館

### 交流人口拡大に向けた

藤島歴史公園の整備を

議員 藤島地域の活性化に資する特色のある公園整備を期待するが、今後の取り組みを伺う。

建設部長 平成26年度春に整備工事に着手、年度内に完成予定であり、27年春に開園の計画である。藤の花にこだわり多彩な方法で藤の魅力を引き出しながら、多くの方々から繰り返し訪れていたような藤の公園にしていきたい。県道藤島羽黒線、山の前地内南側の歩道整備については、国道345号から

公園へのアクセス道路として、藤棚の設置も含め引き続き整備を望んでいきたい。



佐藤 聡  
議員

### 鳥獣被害防止の取り組みは

議員 砂丘畑でサルが目撃され、一部で被害が発生している。群れが入り込まないよう予防対策が必要だが、具体策は。

農林水産部長 未然防止には、花火での追払い、巡回、捕獲用箱かななどが有効と言われている。早急に現状を把握し、山大農学部などの専門家の指導助言を踏まえ、対応していきたい。

議員 猟友会を増やすために体験セミナーの開催や市広報等で猟友会の貢献を市民に知ってもらい、猟師のステータスを上げる取り組みが重要と思うが、農林水産部長 猟友会の意義や役割、狩猟の魅力等の啓蒙活動や体験セミナーなどを考えたい。

### 避難勧告指示のタイミングは

議員 自然災害が予想される時の確なタイミングと範囲で避難勧告・指示を出せるか、難しい判断となるが、どう考えるか。



市民部長 地域防災計画に基づき、災害時初動対応マニュアルを作成して対応している。避難勧告等は気象情報や河川の水位、降雨量などから総合的に判断し、防災行政無線や緊急エリアメール、消防団などの広報により、速やかに住民に情報を伝達することとしている。発令にあたっては、国、県等の関係機関と連絡を密にし、時期を逸することのないようにしていきたい。



上野多一郎  
議員

### 木質バイオマス発電事業計画は

議員 樺引地域で計画が進められており、木材需要の増加や就業の創出による地域経済の活性化が期待される。森林資源の供給、発電施設等の環境対策は、農林水産部長 木材加工業者と庄内3森林組合の出資で設立された株式会社鶴岡バイオマスが27年度稼働に向け準備を進めている。経済効果として間伐材の利用促進や製材端材の有利出荷、林業従事者の増加が見込まれる。燃料には年間5万トンの木材が必要だが、管内の不足分を県内外から集材することで持続的な供

給は可能であり、間伐材を搬出するため路網整備を推進していく。発電施設は24時間、チップ工場は日中のみ稼働の予定である。環境対策は法令に基づき適切に対応すると説明されている。



林業の活性化が期待される木質バイオマス発電

### 狭隘道路の除雪体制確立を

議員 23年度に導入した地域除雪パートナーズ支援事業の現状と狭隘道路の除雪は。

市民部長 地域住民が生活道路等の除雪を行うもので、24年度は23年度を上回る小型除雪機の利用があった。工夫ある取り組み事例の情報共有を図り、多くの地域でこの事業が安全かつ効果的に運用されるよう努めたい。建設部長 郊外地の狭隘道路の

除雪は、降雪量や道路条件も違うため住民と協議し対応したい。



尾形昌彦  
議員

### 新加茂水族館開館に伴う渋滞対策と誘導は

議員 工事の遅れにより、開館当初の駐車場不足が深刻となるが、開館時に使用できる駐車場の状況は。また、収容可能台数と想定される駐車台数がマッチしているか。空いている駐車場への誘導をどう行うのか。

商工観光部長 市の所有である海浜公園だった場所は開館に合わせてアスファルトの駐車場として整備する。旧加茂中学校跡地に設置した第二駐車場も今後とも使用できる。県所有地である加茂レインポービーチの使用については、県及び地元と協議する必要がある。水産高校裏の敷地及び水産試験場裏の野積場についても駐車場として使用できるように県に要望していく。想定する駐車可能台数に不足が見込まれる場合は追加の駐車場が確保できるように努める。空いている駐車場への誘導は看板、電光掲示板等も含め検討したい。



加茂水産高校裏の臨時駐車場

### 加茂水族館第二駐車場への施設整備は

議員 来館者の利便向上、地元での有効利用のため、第二駐車場にあずまや、水飲み場、トイレを設置できないか。

商工観光部長 常設的なトイレ等の設置には相当多額の投資が必要となるため、来館者の利用状況を見極めて検討したい。



佐藤博幸  
議員

### 地域福祉の一層の推進を 地域包括ケアシステム構築急げ

議員 国は全国に27年度までに

療介護の連携と見守りや配食等生活支援策も急ぐべきである。健康福祉部長 地域の支え合いとの連携やネットワーク形成は市と市社協がリーダーシップをとり系統的段階的に進めていく。議員 県は除雪も地域包括ケアシステムでも取り組む計画である。地域ケア会議をどう作るか。健康福祉部長 地域として誰が担当し、どのように実践していくかも含め丁寧に行っていく。

### 市社協は地域福祉活動強化を

議員 市社協は制度外の多様な生活課題も取り組む必要がある。市が市社協に方向性とビジョンを示すべきと考えるがどうか。

健康福祉部長 これまでは既存の施策を中心に協議してきたが、新たな福祉課題への施策の摺り合わせを拡充していく。

### 子どもの医療制度確立を

議員 市は中学生までの医療費無料制度を検討中だが、国保の制度改正と併せ、子どもの医療制度確立のため、国・県への要望活動を強めるべきだがどうか。健康福祉部長 国の制度として創設することや県内での統一的な対応について、今後一層強く要望していく。



本間新兵衛  
議員

### 除雪体制の課題は

議員 本市の除雪委託について課題と対応を伺う。

建設部長 一つは業者の負担が大きい除雪機械の確保であり、本市による機械購入を継続的に図る。二つ目はオペレーターの育成と確保であり、建設業者だけでなく市でも重要な課題として取り組む。三つ目は委託料の見直しに関し、平成21年度に大幅な改定を行ったが、実勢価格や現場業務実態との整合性について今後も十分注視する。

### 発達支援教育のさらなる充実を

議員 発達支援の幼児期と学校との連携、推進について伺う。

教育長 特別に支援の必要な児童生徒の割合は増加傾向にあり、重点施策で特別支援教育充実事業を実施している。幼児期と学校の連携は、就学時健診に基づく指導主事の対応や幼保小一年担任者等研修会の開催、幼保の保育要録、指導要録を小学校でより有効活用するために、校長会等を通して指導していく。

### 国家戦略特区の内容は

議員 県と市が関係企業と共同で国に申請した提案内容とは。

企画部長 合成クモ系繊維の製品サンプル供給体制確立、企業の掘り起こしと新製品開発供給関連する企業の集積の促進等であり、指定に向け要望を続ける。



五十嵐一彦  
議員

### 豊富な森林資源活用の具体策は

議員 森林資源を活用したエネルギー政策の方針について伺う。

農林水産部長 森林資源のエネルギー政策は、これまでの製材用材としてだけの木材利用に新たな需要を生むので、林業にとっても大変有益なものである。今後さらに森林整備が促進され、間伐材の利用が進めば、林業所得の増加、産業としての発展が望めるもので、市としても森林資源の活用、森林整備支援に取り組んでいく。

### 広報及び防災対策としてのSNS運用予定は

議員 災害に関する情報は住民もできるだけ早くほしいものだが、フェイスブック、ツイッター等のSNSメディアは最適ツールと思われる。運用についてはすでに検討しているとのことだが、導入予定時期は。

総務部長 来年度の市のホームページの更新に合わせてフェイスブックの導入も進めていきたいと考えている。ITによる情報発信は市の広報広聴の上で極めて重要なものとなっているので、できるだけ早期に導入できるように取り組んでいく。

### コメ政策見直しの課題は

議員 今まで転作物物で大変な苦勞をしてきた。排水のとれない田んぼで大豆、そばなどを作付けしても所得は減少してきた。今回、飼料用米の増産が打ち出されたが、本市農業にとって転作の切り札になるのか。克服しなければならぬ課題は何か。農林水産部長 平成25年度の飼



本間 信一  
議員

市民部長 SNSメディアを活用した防災情報の発信については、いまだ一度課題を整理し、市の基本的ルールを定めた上での運用になると考えている。



多大な影響を及ぼす米政策見直し

料用米の作付けは260万円で全水田面積の1・7割である。販売は60万2,000円前後で、経費を差し引くと赤字になることもあり、交付金がないと成り立たない。課題として、一つには保管場所の問題。二つ目には飼料メーカーまでの輸送費の問題。三つ目は種子確保の問題。四つ目は乾燥調製施設やサイロの確保と混交の問題がある。議員 直接支払交付金が来年から10割当たり7,500円と半減する。影響は大きいと思うが、減額分の補填方法は。農林水産部長 今年度の交付金は本市の水田面積は約1万7,000haで約15億円交付された。単純計算で7億5,000万円の減額交付になる。国では今回の見直しで113割所得が増加する

と試算しているが、これはそのままではないと思う。飼料用米等へのシフトが補助金の中で考えられるが課題もあるので、補填については、4年間で見出ししていきたい。



佐藤 久樹  
議員

### 地域活性化に向け、鶴岡からオリンピック選手の輩出を

議員 7年後に開催する東京オリンピックに向けて、本市から多くの地元選手が出場の夢を果たすことができるような選手育成と指導者環境、施設整備を。教育長 本市出身の選手が国際・全国大会で活躍しており、市民に元氣と明るい希望と子どもたちに大きな夢を与えている。またちに大きな夢を与えている。市スポーツ強化後援会では、オリンピック代表選手を目指す若者への経済的支援を検討、県は国際大会トップレベル選手の輩出を目指す事業を実施している。市も体育協会等と連携を強化し選手育成に向けた取り組みを進める。施設は上位大会が開催可能となる機能の維持に努め、適切な修繕と練習環境の充実を図っていききたい。

SNS...ソーシャル・ネットワーキング・サービス。個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービス。



## 中・高校生へ自主学習支援を

議員 新たなベンチャー企業の創出等で功績を果している、世界トップの夢と希望あふれる鶴岡の会社へ地元学生や若者が就職を希望している。多くの若者が定住できるように地元学生のスキルアップを検討すべきでは。教育長 これからの未来を担う生徒が目指す進路に向かって努力し、それぞれが持つ力を最大限発揮し活躍できるように、中・高生のニーズを把握した上で今後検討したい。



小野寺佳克  
議員

## バス路線の対策と今後の展開は

議員 バス輸送、デマンド交通の状況と今後の対策と展開は。企画部長 バス路線は、市の直営バス3路線と民間事業者運行を合わせ44路線、輸送人員80万人であり、5年前と比べ33・9%減少している。藤島東栄地区のデマンドタクシーは、週6日の運行で年間2、600人の利用、収支比率31・5%と厳しい状況である。西郷地区のボランティア輸送は週3日の運行で年



藤島東栄地区のデマンドタクシー

間748人の利用、ボランティア運転手の確保、安全な運行管理等、地域の負担が大きいなどの課題がある。羽黒地域の市営バス2路線は週3日の運行で年間1、185人の利用だが、羽黒地域市営バス利用拡大協議会の主体的な取り組みにより、本年3月に経路、運行時刻、料金を見直し、昨年同期比で利用者45・3%、収入は42・5%伸びている。今後の対策・展開として、幹線路線は可能な限り路線維持を図っていく。一方、地域の生活交通はマイバス意識をお持ちいただき、地域特性に合ったシステム導入を基本とし、市が支援していく。また、地域、行政、事業者等と連携、協力し

公共交通のあり方を議論する場を積極的に設け、市民の足の維持確保、改善のための役割分担の明確化、その責任と負担を検討していく。



齋藤 久  
議員

## 本市の美田をどのように守るか

議員 米づくりの誇りと美田をどう守るか。つるおかアグリプランの見直しや水田フル活用ビジョンの策定、次年産飼料米の調整は。

農林水産部長 本市の水田農業振興の基本は①安全・安心、良食味米生産②低コスト複合生産③需要を意識した米づくりである。アグリプランも力強い農業を構築するためあらゆる角度から検証し、来年度に見直す。水田フル活用ビジョンは水田農業を総合的に据えながら農業者等と検討し、早い時期に策定したい。飼料米も種子確保など課題も多いが、適切に情報提供する。議員 地域農業の戦略を練る、リーダーの育成が必要なのは農林水産部長 地区の核となる農業者の育成につながる施策を検討する必要がある。

## 人口増へ積極的な対策の周知を

議員 人口減少が著しく、複合的な対策と自治体間の競争に勝ち、住みたくなる選ばれるまちになることが必要。若者に積極的な周知活動が必要ではないか。企画部長 全国的に人口減少が進む中で、移住・定住対策について都市間競争が激しくなる。様々な情報媒体を活用して本市の施策の周知が図られるよう情報発信方法の見直し、強化にスピード感を持って取り組む。



田中 宏  
議員

## 市有施設の老朽化対策は

議員 市有施設の老朽化対策・長寿命化が急務。橋梁、学校体育館、消防ポンプ庫の現状は。建設部長 市が管理する橋梁は834あり、本年3月に鶴岡市橋梁長寿命化修繕計画を策定した。予防保全型の管理手法に転換することで、今後50年間で約3割のコスト減を見込んでいる。工事の優先度が高い橋梁は上内川橋、熊坂橋、柳橋等である。教育部長 栄小体育館は耐震性不足で改築が望ましいが、整備

費約2億円に係る国の補助金申請をするにあたり、学校適正配置計画との整合性が問題となる。消防長 本市の消防ポンプ庫は332棟あり、建築年数40年以上を目安に改築している。陽光町の消防ポンプ庫は52年が経過し、ホース乾燥棟の整備も含め、移転・改築が必要であり、関係部署と協議しながら進めていく。

## 市有施設の有効活用は

議員 アートフォーラムや市庁舎などの市有施設を、もっと市民活動に開放していくべきでは。教育部長 鶴岡アートフォーラム内のフォーラムが市民活動の場として利用しやすくなるよう展示事業などの日程を踏まえた調整を行っていきたい。総務部長 本庁舎1階ロビーでの作品展示は、業務、庁舎管理上支障のない範囲で可能と思う。



鶴岡アートフォーラム

# 議会からの お知らせ

## 議会を傍聴して みませんか



議会は、次の方法で傍聴できます。

議場の傍聴席で傍聴できます  
(本所4階ロビーに傍聴の受付があります。)

本所及び各庁舎の市民ロビーの  
テレビモニターで視聴できます  
インターネットで中継及び録画  
放送が視聴できます(市議会のホ  
ームページからアクセスしてくだ  
さい。)



議会傍聴の様子(朝日小・朝日大泉小・大網小の皆さん)

左記の議会日程のうち、委員会は、テレビモニター放映やインターネット中継が行われておりませんのでご注意ください。  
平成25年中は、294人の方が傍聴されています。今年も多くの方の傍聴をお待ちしております。

### 3月定例会日程 (予定)

2月26日(水)	本会議(開会・提案 説明・総括質問等)
27日(木)	予算特別委員会
28日(金)	本会議(一般質問)
3月3日(月)	本会議(一般質問)
4日(火)	本会議(一般質問)
5日(水)	本会議
	予算特別委員会
6日(木)	総務常任委員会
7日(金)	市民文教常任委員会
10日(月)	厚生常任委員会
11日(火)	産業建設常任委員会
19日(水)	予算特別委員会
20日(木)	本会議(閉会)

※本会議及び常任委員会の開会時刻は午前10時です。  
※請願及び陳情の提出期限は、2月20日(木)午後1時です。  
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

## 市議会ホームページ

市議会の活動をわかりやすくお伝えするためにホームページを開設しています。ぜひご覧下さい。

<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/gikai/>  
(鶴岡市役所ホームページ内)

鶴岡市議会 で検索

- ホームページ掲載情報
- ・議員一覧、会派別、各種委員会名簿
- ・インターネット版議会中継、録画データ、会議録
- ・市議会の運営、主な議会活動など



## 編集後記

寒さも一段と増し、いよいよ受験シーズンとなりました。受験生の皆さんには、風邪などひかず元気に受験に臨んでいただきたいと思っております。  
さて、今定例会では、議員改選後をはじめて市当局に対する総括・一般質問が行われたことから、いつもより多くの方から傍聴にお出でいただき、ありがとうございました。今後とも市議会に関心を持っていただけるよう、努めてまいります。

議会だよりでは、議会の審議状況などをわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。ご意見、ご感想をお寄せください。

～議会だより編集委員会～

〒997-8601  
山形県鶴岡市馬場町9-25 鶴岡市議会事務局  
電話：0235-25-2111 FAX: 0235-25-2123  
メール：gikai@city.tsuruoka.lg.jp